

病床機能再編事業計画書

(地域医療構想の推進に資する病床削減)

構想区域	福山・府中地域構想区域
医療機関名	公立学校共済組合中国中央病院

■ 計画概要

1. 令和2年4月1日時点の状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数		271				271
稼働病床数		271				271

※許可病床に精神病床、結核病床、感染症病床は含まない

参考		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
平成30年度 病床機能報告	許可病床		277				277
	稼働病床		273				273
令和元年度 病床機能報告	許可病床	101	170				271
	稼働病床	100	163				263

2. 病床削減実施後の許可病床数

削減(予定)時期	令和 3 年 3 月
----------	------------

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
許可病床数		237			237
削減病床数 (許可病床ベース)	0	▲ 34	0	0	▲ 34

3. 病床削減計画の内容、削減の影響(患者等)とその対応方針

<ul style="list-style-type: none"> ・5南病棟58床のうち17床を削減し、現在外来1階にあり手狭となっている外来化学療法室(最大10人対応可)を、当院の強みである血液、呼吸器疾患などのがん治療を一層推進していくために、あらたに”化学療法センター”として削減跡地に移設し、令和3年7月5日に稼働予定である。(最大12人対応可) ・3南病棟50床のうち、大部屋2室8床を1室あたり2床計4床を削減し、主に夜間緊急入院専用受け入れ専用病床として、患者さんが夜間でも安静に療養できるようにする。 ・発熱患者等に対する感染防止対策のための発熱ブースや診察室を外来1階部分に設けるため、外来棟にあるカルテ保管庫を、4北病棟52床のうち大部屋2室8床を削減し、この削減跡地に移設を行う。 ・人間ドック床10床のうち5床を削減し、冬場の感染対応職員の待機や休憩場所として活用を行う。 <p>上記はいずれもがん患者、救急患者ならびに発熱患者への安心安全な医療を提供する上で必要なもので、病床削減による患者様への影響はないものとする。</p>
--

4. 病床削減計画と地域医療構想の関係 (病床削減が構想の実現に資すると考える理由)

<p>当圏域では病床過剰地域である上、広島県地域医療構想における令和7年(2025年)の必要病床数5,031床に対して、令和元年度病床機能報告では5,245床であるなど、214床の過剰となっている。</p> <p>また、医療機能別病床数における急性期の令和7年(2025年)必要病床数1,691床に対して、令和元年度病床機能報告では2,059床となっており、368床が過剰となっている。</p> <p>この度の急性期病床を34床削減する当院の自主的な病床削減計画は、当該圏域の地域医療構想に資するものとする。</p>
--